

工事成績採点表 (土木)

作成日 令和 年 月 日
工事主管課

工事番号	工事名	地内	契約金額(最終)	¥																
工事場所	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	完成年月日	令和 年 月 日																	
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	検査年月日	令和 年 月 日																	
受注者名																				
考查項目		監督員					担当係長等					検査員								
		氏名 ㊦					氏名 ㊦					氏名 ㊦								
項目	細別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0														
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0														
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0							
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0							
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0														
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2																			
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3		(7)	0																
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※4						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0									
加減点合計 (1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6)		点					点					点								
評定点 (65点±加減点合計) ※1		①					②					③								
評定点計		点					(① × 0.4 + ② × 0.2 + ③ × 0.4)					= 評定点計								
7. 法令遵守等 ※7							- 点													
8. 総合評価項目履行確認 ※8							履行 不履行 対象外 - 点													
9. 評定点合計 ※9		点					(評定点計 - 7. 法令遵守等 - 8. 総合評価項目 = 評定点合計)													
所見 ※5		【監督員】					【担当係長等】					【検査員】								

※1 『「1～3の評定(±加減点合計)」 + 「4～6の評定(加減点合計)」 + 65点 = 評定点(65±加減点合計)』とし、評定点計は、四捨五入により少数第1位まで記入する。
 ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価にあたっては、監督員から報告を受けて担当係長等が評価するものとする。
 ※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。
 ※4 社会性等の評価では、地域への貢献の観点から加点評価のみとする。
 ※5 所見は、特筆すべきことがあった場合に記載する。
 ※6 各考查項目ごとの採点は、検査員に先立ち、監督員、担当係長等が記入する。
 ※7 法令遵守等の評価は、減点評価のみとし、担当係長等が行う。
 ※8 総合評価技術提案は、総合評価方式の契約義務の履行が確認できない場合は、「不履行」を選択する。
 ※9 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

工事成績採点表（建築等）

作成日 令和 年 月 日
 工事主管課

工事番号	工事名	地内	契約金額(最終)	¥																
工事場所	燕市																			
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		完成年月日	令和 年 月 日																
受注者名			検査年月日	令和 年 月 日																
考查項目		監督員					担当係長等					検査員								
		氏名 ㊟					氏名 ㊟					氏名 ㊟								
項目	細別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0														
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0														
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0							
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0							
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0														
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2																			
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3																			
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※4																			
加減点合計（1+2+3+4+5+6）		点					点					点								
評定点（65点±加減点合計）※1		①					②					③								
評定点計		点					（①×0.4+②×0.2+③×0.4）					= 評定点計								
7. 法令遵守等 ※7							-					点								
8. 総合評価項目履行確認 ※8							履行 不履行 対象外					-								
9. 評定点合計 ※9		点					（評定点計 - 7. 法令遵守等 - 8. 総合評価項目 = 評定点合計）													
所見 ※5		【監督員】					【担当係長等】					【検査員】								

※1 『「1～3の評定（±加減点合計）」 + 「4～6の評定（加減点合計）」 + 65点 = 評定点（65±加減点合計）』とし、評定点計は、四捨五入により少数第1位まで記入する。
 ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件（構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等）に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価にあたっては、監督員から報告を受けて担当係長等が評価するものとする。
 ※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。
 ※4 社会性等の評価では、地域への貢献の観点から加点評価のみとする。
 ※5 所見は、特筆すべきことがあった場合に記載する。
 ※6 各考查項目ごとの採点は、検査員に先立ち、監督員、担当係長等が記入する。
 ※7 法令遵守等の評価は、減点評価のみとし、担当係長等が行う。
 ※8 総合評価技術提案は、総合評価方式の契約義務の履行が確認できない場合は、「不履行」を選択する。
 ※9 評定点合計は、四捨五入により整数とする。